



2024年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社 鉄人化ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 根来 拓也  
(証券コード2404 スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 管理本部長 浦野 敏男  
(TEL 03-3793-5111)

## 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2024年8月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」並びに本日提出予定の「第26期第2四半期報告書」において、これまで記載していた「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当社グループは、2020年8月期第3四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりカラオケ店舗及び飲食店舗の休業・営業自粛を行ったことによる客数が大幅に減少したことを主な要因として売上高が著しく減少し、同第3四半期連結累計期間において営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失となったこと、また2021年3月に返済期日の到来する多額のタームローン契約の借換えが取引金融機関との間で協議中であったことから、「2020年8月期第3四半期決算短信」並びに「第22期第3四半期報告書」より継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。なお、当該タームローン契約は、2024年3月末を返済期日とする契約に借換えを実施しております。

このような状況を解消するために、当社グループは、収益基盤の改善を図るとともに、財政基盤の強化と安定化に取り組んでまいりました。

収益基盤の改善につきましては、長期化するコロナ禍での対応として、既存店舗の運営コストの見直しと改善による損益分岐点売上高の低減化を図り、また将来の収益性の見込みが低いと判断したカラオケ店舗を閉店するとともに、過剰スペースの業態変更などに取り組んでまいりました。本社運営コストにつきましても、ICT化と業務工数等の見直しやテレワークの推進により本社運営に係る全てのコストの効率化と削減を図り、運営コストのスリム化に取り組んでまいりました。

財政基盤の強化と安定化につきましては、新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に備えるための運転資金と店舗リニューアル等を目的として第三者割当増資を実施し、また前述のタームローンにつきましては、2024年3月29日付で新たなタームローン契約(借換額1,600百万円、満期日2028年3月末)にて借換えを実施いたしました。

このような結果、主力のカラオケルーム運営事業における、コロナ禍を契機としたビジネス層の利用控えの回復遅れや深夜時間帯利用の減少など、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が一部存在するものの、上記取組みに加え、国内における新型コロナウイルス感染症による影響が減少し、経済活動の正常化が一定期間に及んでいることから、各事業の黒字化の目途が立つ状況になったと判断しております。

以上のことより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなったと判断し、「2024年8月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」並びに「第26期第2四半期報告書」より「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主をはじめとする関係者の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今後もさらなる業績及び企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上